

第9分科会

通信制大学と通学制大学の境界

分科会概要：

コロナ禍により通学制の大学においても、いわば強制的にオンライン授業を経験することとなったが、そのことにより、オンライン授業が今後の大学教育の一つの方法として、実感をもって認識されるようになった。令和3年7月、日本私立大学連盟は、『ポストコロナ時代の大学のあり方～デジタルを活用した新しい学びの実現～』の中で「卒業要件にかかわるオンライン授業による修得単位数の上限は撤廃すべきである。」との提言を行っており、今後、通学制と通信制の境界はあいまいになっていく可能性がある。

本分科会では、まず、日本通信教育学会の会長である鈴木氏より、そもそも通信制大学と通学制大学の区分とは何なのかについて整理いただいたのち、大学設置基準上の「授業の方法」の区分の限界、学生層の変化、学費といった観点から議論いただく。次いで、八洲学園の理事長である和田氏より、2004年に通信教育課程のみを置くインターネット大学を日本で初めて開学した経緯と設立理念について話題提供いただく。最後に、通信制大学の実態に詳しい寺尾氏より、通信制大学のスクールライフや、通信制大学に特有の観点として抑えておくべきポイントを整理いただく。

これらの議論から、「授業の方法」による区分が今後も意味をなすのか、また、改めて通学制の大学であるということにはどのような積極的な意味があるのかといったことを参加者を交えて議論する。

<プログラム>

- 14：00 趣旨説明
京都大学 准教授 田口 真奈 氏
- 14：05 講演 1. そもそも「通信制」と「通学制」の区分とは何か
桜美林大学 教授 鈴木 克夫 氏
- 14：45 講演 2. 通学制大学は残れるのか？ -小売業をヒントに-
学校法人八洲学園 理事長 和田 公人 氏
- 15：25 講演 3. 「通信制」と「通学制」の境界を見極めるために必要な視野・視座・視点
神奈川工科大学 学生支援本部教務課 課長代理／
一般社団法人大学行政管理学会 教育マネジメント研究会 サブリーダー 寺尾 謙 氏
- 16：05 休憩
- 16：15 ディスカッション
- 17：00 分科会終了

<交流会> ※交流会への参加は任意です

17：00～17：30

分科会での議論を踏まえた気軽な意見交換の機会をもちたいと思います。4～5人のグループで15分程度、分科会のご感想やご意見を交換していただき、その後、全体共有いただければと考えています。